

災害時 身を守ろう

南の星小児童 担架の作り方学ぶ

災害時に身を守る方法を知ってもらおうと、陸上自衛隊板妻駐屯地(御殿場市)第三四普通科連隊第四中隊の隊員らが、浜松市南区の南の星小学校を訪れ、児童らにロープワークや応急担架の作り方などを教えた。

同小の二、三年生と南の星幼稚園の約百五十人が参加。隊員は救助の際に体を固定

させる結び方や、身近なものを使った簡易担架の作り方を指導した。簡易担架で実際に持ち上げられた児童は「すごい」と驚いていた。

同中隊の藤岡博文二等陸曹(四)は「いざというときに、自分を守り、他人も助けられるようになっただけでいい」と話していた。

(小沢慧一)



簡易担架による搬送を体験する児童たち＝浜松市南区で